



住宅火災死者
急増中！

火の取り扱いにご注意を！

火災による死者の**約9割**は住宅で発生しています

冬から春は、空気が乾燥して火災の発生しやすい季節ですので、
火の取り扱いには十分ご注意ください。

東京消防庁

TOKYO FIRE DEPARTMENT



家族で確認! 防火対策チェックリスト

大切な命をまもるため、チェックしてみましょう



たばこ	<input type="checkbox"/>	寝たばこをしていませんか?
	<input type="checkbox"/>	灰皿に吸い殻をためていませんか?
ストーブ	<input type="checkbox"/>	洗濯物など燃えやすい物を近くに置いていませんか?
	<input type="checkbox"/>	給油は火を止めてからしていますか?
コンセント 電気配線	<input type="checkbox"/>	タコ足配線をしていませんか?
	<input type="checkbox"/>	コンセントにホコリは溜まっていませんか?
仏壇など	<input type="checkbox"/>	ろうそく・線香をつけたまま、その場を離れていませんか?
住警器	<input type="checkbox"/>	住宅用火災警報器を設置していますか?
住宅用 消火器	<input type="checkbox"/>	「マイ消火器」を準備していますか?
家の外	<input type="checkbox"/>	家の外に燃えやすいものを放置していませんか?

◎ 住宅用火災警報器の点検・交換をしましょう

設置後10年を目安に交換しましょう。
故障や電池切れでは火災を感知しません。

住宅用火災警報器を設置後、**定期的(少なくとも半年に1回)**に点検をしましょう。正常な場合は、正常を知らせる警報音が流れます。



製造年月日 13 10 15

※2013年10月15日(製造)と表記されています。

本体内部



ボタンを押す

または

ヒモを引く

◎ 住宅用消火器「マイ消火器」を備えましょう

火災はいつ発生するか分かりません。
万が一、火災が発生しても、消火器具を使用した場合は、**約8割が被害軽減**につながっています。

消火器



性能抜群

住宅用消火器



小型で軽量

エアゾール式
簡易消火器



片手で簡単

あなたの部屋の危険はここです

たばこ

死者が最多

- ☑ 寝たばこは絶対にしない。
- ☑ 吸い殻は水に浸けて完全に消火する。
- ☑ 禁煙、加熱式たばこへの切替も考える。



こんろ

出火原因第1位

- ☑ 安全機能(Siセンサー)付こんろを使用する。
- ☑ 調理中はこんろから離れない。
- ☑ 周囲を整理整頓し、可燃物を置かない。
- ☑ 鍋底から火がはみ出さないよう調節する。



あなたの部屋の危険はここです

ストーブ

約8割は

電気ストーブ

- ☑ 周囲には燃えやすいものを置かない。
- ☑ ストーブの近くで洗濯物を干さない。
- ☑ 外出時や就寝時は必ず消す。



コード

誰もが使っている

知らぬ間に火

- ☑ 家具の下敷きや折れ曲がりに注意する。
- ☑ 電源タップは決められた容量内で使用する。
- ☑ コードまわりを定期的に点検・清掃する。
- ☑ 束ねて使用しない。

